

美術科学習指導案

指導者 山本 英美

日時 平成28年11月19日(土) 第1校時(10:00~10:45)

年組 中学校第2学年2組 計39名(男子17名, 女子22名)

場所 中学校美術教室

題材 もう一つのピレネーの城~似て非なる別世界~

題材について

本題材では、ルネ・マグリットの描いた「ピレネーの城」をモチーフに、コラージュの制作を行う。マグリットは、20世紀の最も重要な芸術運動の一つであるシュルレアリスムを代表する画家である。1959年に制作されたこの作品は、頂上に城のそびえる巨大な岩が海上を浮遊しており、どこか不可思議な印象である。この絵に描かれた城は、マグリット自身の言葉によると「想像力によってのみ入ることができる」ものであるため、絵を見たものは必然的にさまざまなことを考えずにはいられない。マグリットの絵画は「目に見えない思考」とも呼ばれているため、生徒を一気に想像の世界へ引き込むことができると考えられる。また、コラージュという手法での表現はアイデアを具現化しやすいため、普段描くことに苦手意識を持っている生徒にとっても自分のイメージを形にしやすいものと思われる。

本学級の生徒は、約3割が東雲小学校出身者である。9年間の学びを通して美術に親しみ、好きな画家にダリやゴッホ、ユトリロなどを挙げ、美術鑑賞を好む生徒が非常に多い。しかし、中学校2年生という時期は思春期の只中である。周囲の目が気になる、人と自分を比べてしまう、などの理由から作品制作、特に描くことに対する苦手意識を持っている生徒も多い。

指導にあたっては、制作の一環としてコラージュの技法についての学習と、自由な発想を促すための鑑賞を行いたい。コラージュの技法については、与えられた素材を使って実際の技法を体感することで、創造性を高めることができるものと考えられる。マグリットの言葉を用いて「ピレネーの城」やその他の作品について鑑賞を行うことは、それが個々の生徒の想像をかきたて、作品の構想を練る原動力になることを想定している。作品の制作では2つの場面でお互いの作品やアイデアを見る場面をつくり、個々の発想や構想がより深まるように働きかけたい。

指導目標

1. コラージュの技法を用いて個々の作品イメージを創造的に表すことができるようにする。
2. 既成概念にとらわれることなく、自由な発想で意外性のある組み合わせを考えることができるようにする。

指導計画(全5時間)

1. シュルレアリスムの世界「ピレネーの城」鑑賞…………… 1時間
2. コラージュの技法と鑑賞…………… 1時間
3. コラージュの制作①「もう一つのピレネーの城~似て非なる別世界~」…………… 1時間(本時)
4. コラージュの制作②「もう一つのピレネーの城~似て非なる別世界~」…………… 1時間
5. 全体交流・自己評価…………… 1時間

本時の目標

自分で用意した素材や組み合わせをもって、他者の表現に触れることを通して発想を広げ、創造的な表現の構想を練ることができる。

協働的発想 (collaborative inspiration) を生起させるための手立て

本題材では主に2つの場面で協働的発想を促す手立てを取り入れる。第一の手立てはコラージュの制作①の、素材選びの段階における交流である。個々で準備した素材、シユールな組み合わせや作品イメージについて交流することで自分だけでは思いつかなかったような新しい発見や発想が生まれることが期待できる。第二の手立てはコラージュの制作②で行う、作品についての交流である。ものの配置や組み合わせなどについて交流することで、主に技能面について互いに学ぶことができると考える。

学習の展開

学習活動と内容	指導上の留意点 (◆評価)
<p>□マグリットの作品やコラージュの技法について 振り返る</p> <ul style="list-style-type: none">色と形の組み合わせの意外性や意味づけ、面白さについて考える。 <p>□コラージュの素材について交流する</p> <ul style="list-style-type: none">持ってきた素材をどのように組み合わせるのかを考える。友達が持ってきた素材を見ていろいろな発想に触れる。 <p>□コラージュの制作①</p> <p>アイデアを練る</p> <ul style="list-style-type: none">意外性のある組み合わせを考えながら写真を選ぶ「もう一つのピレネーの城」のイメージで写真を組み合わせ、構想を練る	<p>○前時の授業で作った生徒作品を電子黒板に提示する</p> <ul style="list-style-type: none">コラージュの技法そのものよりも組み合わせに注目させる <p>○個々の発想や構想を深めるために、お互いのアイデアを見る場面をつくる。</p> <ul style="list-style-type: none">自由にレイアウトを変えられるようにA4ラミネートフィルムを全員分用意する。 <p>◆シユールな世界観で「もう一つのピレネーの城」を表現できているか。【発想・構想の能力】</p> <p>○生徒が自由に試行錯誤できるような環境を整える</p> <ul style="list-style-type: none">コラージュ素材が不足した場合に備えて雑誌や図版を用意する。ピレネーの城の具体的な世界観が必要になった場合に備えて作品の図版を用意する。 <p>◆いろいろな発想に触れることでより創造的にピレネーの城の世界観を表現できているか。【発想・構想の能力】</p>